


Safety Data Sheet (EC)No.1907/2006 準拠

Livos KALDET Transparent Wood Stain カルデット - 002 クリア

製品番号：270 (カラー002)

改訂：2018年2月1日

1. 基本情報及び会社情報				
1-1. 基本情報	製品名	Livos KALDET Transparent Wood Stain カルデット 製品番号：270 (カラー002 クリア)		
	製造者	LIVOS Pflanzenchemie Forschungs- und Entwicklungs GmbH & Co. KG		
	住所	Auengrund 10 D - 29568 Wieren		
	電話番号	+49(0)5825-88-0	FAX	+49(0)5825-8864
	e-mail	info@livos.de		
1-2. 使用用途	分類	概要：浸透性木材保護着色オイル (クリア・ツヤなし) 内装無垢材、キャビネットの中、ガーデン家具等 適用：内装用木部 (家具、フロアなど)		
	補足	特になし		
1-3. 緊急時の お問合せ先	お問合せ先	株式会社イケダコーポレーション		
	電話番号	06-6452-9377		
1-4. 輸入業者	会社名	株式会社イケダコーポレーション		
	住所	〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F		
	電話番号	06-6452-9377	FAX	06-6452-9378
	H P	www.iskcorp.com	e-mail	info@iskcorp.com
2. 危険有害物の要約				
2-1. 物質または 混合物の分類	危険分類： 吸引性呼吸器有害性：ASP.Tox.1 危険有害性情報： 飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ			
2-2. ラベル要素	ラベル要素の為の有害性成分 (物質)： Isoaliphate (イソアリファータ) シグナルワード：危険 ラベル： 			

<p>2-2. ラベル要素</p>	<p>危険有害性情報： H304 飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ</p> <p>注意： P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P501 内容物/容器は地域条例に従って廃棄すること。 P405 施錠して保管すること。</p> <p>特定の混合物に関する特別なラベリング： EUH208 コバルト (2+) 塩が含まれ、アレルギー反応を引き起こすところがある。</p>	
<p>2-3. その他の危険</p>	<p>塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。 製品自体は自然発火しない。 換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。</p>	
<p>3. 組成及び成分情報</p>		
<p>3-2. 化学的特性</p>	<p>化学的特性</p>	<p>全成分： アマニスタンドオイル天然樹脂エステル、アマニ油、二酸化チタン、 鉱物顔料、チョーク、アマニスタンドオイル、ヒマシ油スタンドオイル、 乾燥ヒマシ油、大豆レシチン、アマニウッドスタンドオイル、 珪酸、マイクロワックス、パインオイル、イソアリファーテ、アルミナ、 乾燥アミノ糖、無鉛乾燥剤 (Ca,Co,Mn,Zr)</p> <hr/> <p>イソアリファーテ (Isoaliphate) ・ CAS No.90622-58-5 ・ EC No.918-167-1 ・ REACH No.01-2119472146-39 ・ (EC)No.1272/2008[CLP]準拠に従って分類： Asp.Tox.1:H304 ・ 割合 50～<70%</p> <p>コバルト(2+)塩 ・ CAS No.136-52-7 ・ REACH No.01-2119524678-29 ・ (EC)No.1272/2008[CLP]準拠に従って分類： Repr. 2, Eye Irrit. 2, Skin Sens. 1, Aquatic Acute 1(M-Factor=1), Aquatic Chronic 3; H361fH319 H317 H400 H412 ・ 割合 .1～<1%</p> <p>※ H と EUH 書類に関する全文は、セクション 16 を参照</p>

4. 応急処置		
4-1. 応急処置の説明	<p>吸入</p> <p>皮膚接触</p> <p>目に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p>	<p>直ちに汚染された衣類を脱ぐ。</p> <p>新鮮な空気の場所で安静にする。事故や意識が無い場合は、医師の診察を受ける。（可能であれば、安全データシートを示す。）</p> <p>大量の水と石鹼で洗い流す。皮膚刺激が残る場合は、医師の診察を受ける。</p> <p>すぐに大量の流水で慎重かつ十分に洗い流す。刺激が残る場合は、眼科医で診察を受ける。</p> <p>口をすすぎ、無理に嘔吐させない。直ちに医師の診察を受ける。</p>
4-2. 重要な症状と影響（急性・遅発）	入手可能な情報なし	
4-3. 医師の診察と特別な治療	病状により処置する。	
5. 火災時の措置		
5-1. 消火剤	<p>適切な消火剤：</p> <p>二酸化炭素（CO2）、消火粉末、水噴霧ジェット。火災部周辺に消火対策を施す。</p> <p>不適消火剤：ウォータージェット</p>	
5-2. 物質/混合に伴う特別な危険性	塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。製品自体は自然発火しない。	
5-3. 消防士へのアドバイス	火災の際は、自給式呼吸器を着用する。	
追加情報	水噴霧ジェットは、人体の保護、危険にさらされた容器の冷却に使用する。汚染した消火用水は別で回収する。排水溝や地表に放置することはできない。	
6. 漏出時の措置		
6-1. 人体に対する予防措置、保護具及び緊急処置	防護服を使用する。 十分な換気を行う。	
6-2. 環境に対する予防措置	地表や排水へ製品を排出してはならない。	
6-3. 洗浄の方法・材料	液体結合性材料（砂、珪藻土、酸、結合剤等）で吸収させる。 廃液は地域条例に従って廃棄する。	
6-4. 他章の参照	<p>安全な取扱い：第7章を参照してください。</p> <p>保護具：第8章を参照してください。</p> <p>廃棄：第13章を参照してください。</p>	
7. 取扱い及び保管上の注意		
7-1. 取扱い上の注意	<p>安全な取扱いに関するアドバイス：</p> <p>容器は密閉する。十分な換気を行う。</p> <p>火災及び、爆発防護に関するアドバイス：</p> <p>発火源から遠ざける（喫煙厳禁）。熱から遠ざける。</p> <p>換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。</p>	

7-2. 安全な保管の条件	<p>保管室と容器の必要条件： 涼しく、換気の良い場所で保管する。 熱から遠ざけること。</p> <p>安全な保管に関するアドバイスと条件： 特別な処置は必要ありません。</p>	
7-3. 具体的な使用用途	<p>内装・外装用木部（家具、フロアなど） 浸透性木材保護着色オイル（カラー・ツヤなし） 内装無垢材、キャビネットの中、ガーデン家具等</p>	
8. ばく露防止及び保護措置		
8-2. 露出制限・管理	<p>保護と衛生対策</p> <p>目と顔の保護</p> <p>手の保護</p> <p>皮膚の保護</p> <p>呼吸の保護</p>	<p>汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 作業中は飲食を避ける。</p> <p>保護メガネを着用する</p> <p>化学物質を取り扱う際は、化学薬品に強い保護手袋を着用する。 具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。</p> <p>保護服を着用する。 換気が十分でない場所では、呼吸用保護具を着用する。</p>
9. 物理的及び化学的性質		
9-1. 物理的情報	<p>形 状</p> <p>色</p> <p>匂 い</p> <p>pH 値</p> <p>物理的状態の変化</p> <p>融点</p> <p>引火点</p> <p>可燃性</p> <p>固体</p> <p>ガス</p> <p>爆発性</p> <p>下限</p> <p>上限</p> <p>熱分解温度</p> <p>酸化特性</p> <p>蒸気圧</p> <p>比 重</p>	<p>液体</p> <p>クリア</p> <p>独特</p> <p>該当なし</p> <p>>100℃</p> <p>未定</p> <p>>61℃</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p> <p>換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。</p> <p>未定</p> <p>データなし</p> <p>未定</p> <p>約 0.81 g/cm³ / 20℃</p>

9-1. 物理的情報	水溶性	不溶性 この物質は水に不溶であることが知られているため、研究を実施する必要はない
	その他の溶媒における溶解度	未定
	分配係数	未定
	粘度	<20.5m m ² /s / 40℃
	蒸気密度	未定
	蒸発速度	未定
	9-2. その他の情報	固形分
10. 安定性及び反応性		
10-1. 反応性	規定に従って処理・保存において有害な反応なし。	
10-2. 化学的安定性	通常の周囲温度で安定して貯蔵できる	
10-3. 危険反応	既知の有害な反応はありません。	
10-4. 回避条件	熱から遠ざける。	
10-5. 互換性の無い材料	酸と混ぜない。強酸化剤	
10-6. 有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。	
11. 有害性情報		
11-1. 毒物学的作用の情報	急性毒性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 化学名：イソアリファーテ（Isoaliphate） ・ CAS No.90622-58-5 ・ 暴露経路：経口 ・ 対象種：ラット ・ LD50 : >5,000mg/kg ・ 暴露経路：皮膚 ・ 対象種：ラビット ・ LD50 : >5,000mg/kg
	腐食／刺激効果	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	過敏性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	STOT・単独暴露	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	長期影響	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	発がん性・変異原性・毒性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	吸引性呼吸器有害性	飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ。
	テストに関する追加情報	混合物は、(EC)No.1272/2008[CLP]準拠に従って、危険物に分類される。

12. 環境影響情報		
12-1. 毒性	魚に対する 毒性	製品はテストされていない。 化学名：イソアリファート（Isoaliphate） ・対象種：魚 ・LC50：>1,000mg/l ・暴露時間：96h
	藻類に 対する毒性	化学名：イソアリファート（Isoaliphate） ・対象種：藻類 ・ErC50：>1,000mg/l ・暴露時間：72h 化学名：コバルト(2+)塩 ・対象種：水性植物 ・ErC50：0.528mg/l
	甲殻類に 対する毒性	化学名：イソアリファート（Isoaliphate） ・対象種：オオミジンコ ・EC50：>1,000mg/l ・暴露時間：48h
12-2. 残留性及び分解性	製品はテストされていない。	
12-3. 生体内蓄積の 可能性	製品はテストされていない。	
12-4. 土壌中の流動性	製品はテストされていない。	
12-5. PBT と vPvB の評価	製品はテストされていない。	
12-6. その他の悪影響	入手可能な情報なし	
詳しい情報	排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。	
13. 廃棄上の注意		
13-1. 廃棄物処理	推 奨	排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。 廃液は地域条例に従って廃棄する。
	汚染した梱包	汚染した容器は完全に空にし、適切なクリーニング後に再利用することができる。汚染された容器は、物質そのものと同じ方法で扱う。
14. 輸送上の注意		
陸上輸送（ADR/RID）		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
内陸水路輸送（ADN）		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
海上輸送（IMDG）		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	
航空輸送（ICAO）		
その他の該当する情報	輸送規制に該当する危険物ではありません。	

製品番号：270（カラー002）

14-6. ユーザーの為の特別な 注意事項	入手可能な情報なし
14-7. マルポール条約 73/78 付属書II及びIBC コードに よるばら積み輸送	適用なし
15. 適用法令	
15-1. 安全・健康及び環境に 関する法令/物質または混合 物に関する特別法	EU 規制情報：2010/75/EU (VOC)：70% 2004/42/EC (VOC)：568g/l 追加情報：850/2004/EC, 79/117/EEC, 689/2008/EC 水質汚染クラス (D)：1-わずかな水への混入
15-2. 化学物質安全性評価	混合物の安全性評価は行っていない。
16. その他の情報	
H と EUH に関する記述	H304 飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H319 強い眼刺激 H361f 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い H400 水生生物に強い毒性 H412 長期的影響により水生生物に有害 EUH208 リモネン（オレンジ油）、コバルト（2+）塩が含まれ、アレルギー反応を引き起こすところがある。
備 考	当 SDS にて提供される情報は、現在知りうる知見、事例、公表されたデータを基にしたものである。当 SDS は製品の安全な取扱い、使用、保管、運搬の指導を目的としたもので、保証や品質の仕様を約束するためのものではない。この情報は他の製品に転用することは出来ない。当 SDS は製品の詳細と、混合することが推奨されない物質や、推奨されない作業に関連した情報である。当 SDS は安全面に関する情報だけを含み、製品情報または製品仕様書ではない。